

一般質問通告書（平成28年9月定例市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答 弁 順 序	答 弁 者
1	平川 哲郎	1. 介護保険制度について	(1) 今、介護保険見直しの審議が行なわれていますが、要介護1、2の人を保険からはずそうとしている事、又、福祉用具を全て自己負担にする事などが検討されていると聞いていますがどのようになるのかわかる範囲でお聞かせ下さい。		
		2. 年金制度について	(1) 政府は、年金受給を70才以上にするとか、年金基金を株につきこんで5兆円から10兆円も損失を出しているということも言われています。将来的に年金がもらえなくなるのではという声も聞かれます。これからどうなっていくのでしょうか。		
		3. マイナンバー制度	(1) これまで白杵市で「個人番号カード」を取得した方は何%になりますか？ (2) 「個人番号カード」はいまのところ身分証明以外に使い道がありません。これからどのような運用をしようとしているのかお聞かせ下さい。		
		4. 石橋について	(1) 白杵市内や502号線沿いの豊後大野市から竹田市まで多くの石橋群があります。これらの石橋にもっと光を当てるべきと思います。石橋の所在地を示す看板の設置や石橋周辺の整備等も進めていただきたいと思いますがいかがでしょうか。		
2	大戸 祐介	1. 白杵市の合併後のあり方について	(1) 旧白杵市と旧野津町が合併して11年を超えましたが、未だに制度上異なる部分があると思いますが、どのような違いがあるのでしょうか。 (2) 上記のような状況は、行政上非効率であったり、両地域にとって心理的な隔たりが生じる可能性があると思いますが、どのように考えますか。 (3) 今後完全な制度上の一致を考えていますか。考えているとしたら時期はどの様に考えていますか。		
		2. 簡易水道事業について	(1) 簡易水道は地区によって、人口減少や高齢化等の問題もあり、市で管理をお願いしたいとの要望を聞きますが、市はどのように考えていますか。		
		3. 市長の任期満了が間近な事に伴う、市長の自己評価と今後の方針について	(1) 2期目の任期中に多くの施策を実施してきたわけですが、自己評価をどのようにされていますか。また、成果や課題についてお聞かせ下さい。 (2) 任期満了が1月に迫っていますが、市長選に出馬の意向はありますか。また、出馬するとすれば、どのような政策をかがげますか。		
3	長田 德行	1. 18歳選挙権について	(1) 今回の参院選で新たに有権者となった（18才19才）白杵市の投票率は何%ですか (2) 選挙年齢が引き下げられてから初めての選挙でしたが投票率の向上についてどのような取り組みをされましたか (3) 若い世代の政治への関心、喚起の取り組みについて		
		2. 鳥獣被害対策について	(1) サル対策 ① 捕獲数の推移について ② 被害について ③ 群れの調査について ④ 農林業・人的被害への対応強化、予防について (2) 猪、鹿の捕獲数と被害の推移について		

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
4	奥田 富美子	1. 移住定住の支援強化について	(1) 「移住・定住サポーター」制度がスタートしたようですが今後の展開はどうなりますか？また現状の課題はどのようなことがありますか？ (2) 移住、定住を考える際に住まい、教育、医療、就職や移住してからのメンタル面でのサポートまで対応が多岐にわたると思われれます。ワンストップ化を図れないでしょうか？		
		2. 白杵での“民泊”について	(1) 2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピックに向けて白杵市でも「民泊」に取り組むべきと考えます。白杵市での取り組みについてどのようになっていますか？ (2) インバウンド対策についてはどのようにお考えですか？ (3) 白杵の「食」「自然」「古い町並み」と市民力を活かし、白杵市らしい“民泊”を準備すべきと考えますがいかがでしょうか。		
		3. 子ども食堂について	(1) 白杵市での必要性について考え方をお聞かせください。 (2) 子ども食堂を実施する場合、理想的な展開についてどのように考えられますか？		
5	匹田 郁	1. 白杵市の魅力と可能性について	(1) 平成24年に観光元年と宣言して、白杵市の観光の再構築を目標に掲げ3年半が過ぎましたが、この間の成果と現状、今後の展開についてどのように認識していますか。 (2) 定住・交流事業を促進しているが、そのねらいはなにか。又事業を行うに重要なポイントは、何と考えますか。 (3) 少子高齢化の進展が予想される中、市民の皆様に喜んで頂くこれからの施策は何と考えますか。 (4) 市長は、白杵市の最大の魅力は何と思われれますか。また、セールスポイントとしての可能性をどう考えますか。		
6	大塚 州章	1. 白杵市の人材育成について	(1) 平成26年に設置された白杵市人材育成市民連携会議により、各代表者により意見交換がなされて来ました。その主なものとしては ① 白杵高校との連携 ② 海洋科学学校の単独校化 ③ 市内小中学校の学力向上 があげられて来ましたが、それぞれの経過と成果、今後の取り組みについてお聞かせ願いたい。		
		2. 徘徊検知システムの実証実験について	(1) 白杵市では認知症や何らかの理由により行方不明者の早期発見を目指す為に、小型発信機とスマートフォンによる実証実験を行って来ましたが、その結果についてお聞かせ願いたい。 (2) 今後、市民にとってより良いものになる為に必要な取り組みがあればお聞かせ願いたい。		

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
7	若林 純一	1. 農地バンクについて	(1) 農業従事者の高齢化や農地の相続などによって所有者が管理できなくなった(なりそうな)農地を、経営規模を拡大したい農家や法人、新規就農者に橋渡しする、いわゆる「農地バンク」のような仕組みを作り、貸し手と借り手を結びつけるような仕組みが必要と思われるが如何お考えか？		
		2. 農業機械の負担軽減について	(1) 新規就農者の負担軽減はもとより、農業従事者の高齢化・兼業化の進展に伴う負担軽減のために、農業機械のリース・レンタルや中古機械の仲介・斡旋に取り組む必要があると考えるが如何お考えか？		
		3. 農業研修制度について	(1) 新規就農者の育成は重要な課題と考える。現在「アグリ起業学校」を設立し、ピーマンを対象とした研修制度を設けている。 ① 水田(稲作)について担い手不足が危機的状況であると思われ、稲作を中心とした経営を学び新規就農に結びつける研修制度が必要と思われるが如何お考えか？ ② 特に「うすき夢堆肥」の特性を活かした農薬や化学肥料を使わないコメ栽培については将来性があると思われ、担い手の育成や販路開拓、ブランド化に取り組むべきかと考えるが如何お考えか？		
		4. 空き家バンクについて	(1) 空き家バンクを活用した移住への取り組みが進められているが、市内に存在する空き家の数に比して登録物件(31件)は少ないように思われる。 ① 空き家の把握と登録勧誘はどのように行われているか？ ② 登録数を増やすための取り組むべき課題及び条件整備は何か？		
8	土谷 桂山	1. 市役所に勤務している非正規職員の待遇について	(1) 今年の大分県の最低賃金が決まったようですが、いくらになりますか。 (2) 非正規職員の時給は、これからどうなりますか。また、これまでの時給の金額の推移についてお知らせ下さい。 (3) その他の待遇面で切り下げはありませんか。		
		2. ピロリ菌検査について	(1) 他市に先がけて、導入するようですが検討の経過と結果をお知らせ下さい。 (2) ピロリ菌検査の主体者はどこですか。予算はどれほど計上しますか。 (3) ピロリ菌の検査・除去は法律で定められていますか。また、除菌にかかる経費は誰が負担しますか。 (4) 薬による除菌は、副反応もあるようですが、十分に保護者が理解できるように説明できますか。		
		3. 伊方原発の再稼働について	(1) 8月11日付大分合同新聞の18市町村長アンケートについて市長の真意をお聞かせ下さい。 (2) 九州電力川内原発に対する鹿児島県の新知事の対応についてどう受け止めていますか。 (3) 今後、白杵市民の思いを受け止めて、県や四国電力へ働きかけて行くのか思いをお示しください。		
9	戸匹 映二	1. 認知症対策及び高齢者支援について	(1) 認知症施策の最新の推進状況をお伺いいたします。 (2) 認知症サポーターのフォローアップの機会が必要ではないでしょうか。 (3) 認知症サポーターのスキルアップの仕組みを作り、高齢者支援のボランティアリーダーとして、地域で活躍する人材の育成に取り組んではいかがでしょうか。		
		2. 大災害時の罹災証明の発行について	(1) 罹災証明書の速やかな発行が義務付けられていますが、その整備体制を伺います。 (2) 「被災者支援システム」を導入してはいかがでしょうか。		
		3. 障がい者などの支援について	(1) 精神障がい者の精神科デイケアへの交通費の一部助成が必要と考えますがいかがでしょうか。 (2) 「ヘルプマーク」「ヘルプカード」を導入してはいかがでしょうか。		